

ダイアログ・イン・ザ・ダーク TOKYO ダイアログの夏キャンプ～まっくらな中見えない星の下で～ 開催のご案内

報道関係者各位

初の長期開催プロジェクト『ダイアログ・イン・ザ・ダーク TOKYO』を昨年3月20日より開催し、すでに30000名様以上の方に楽しんでいただきました。これも皆様方のお力のお陰だとスタッフ一同感謝しております。つきましては開催概要資料をお送りいたします。

2010年ダイアログ夏バージョンとして「ダイアログ夏キャンプ～まっくらな中見えない星の下で～」を開催しますのでお知らせいたします。

1999年から毎年短期開催してきましたダイアログ・イン・ザ・ダーク。すでに日本でも6万人の方が体験、今回、より多くの方に体験してもらうと同時に視覚障がい者の新しい雇用を創出するため日本での常設展示を目指しています。

尚、これまでお世話になりましたご関係者の皆様向けにこの夏バージョンの平日セッションを若干名分ご用意をしております。参加ご希望の方は、別途資料をご参照ください。

また、今春からビジネスに利用できるまっくらな中でのダイアログ・ビジネスワークショップの展開も始め、コミュニケーションやチームビルディング、そしてリーダーシップ、ダイバーシティなど企業のテーマに沿ったプログラムを開発しました。詳しくは<http://www.dialoginthedark.com/corp/index.html> まで。今後とも引き続きご指導いただけますようよろしくお願い申し上げます。

2010年8月吉日
ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン
金井真介

※このプロジェクトの著作権は、DIALOGUE SOCIAL ENTERPRISE® Dr.Andreas Heinecke に帰属しています。

見えないから、見えるものがある。

人に、やさしくなれる場所。

ずっと、まっくらな中にいたくなる。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク TOKYO

～ぼくたちの夏休み～

開催概要

- 名称 : ダイアログ・イン・ザ・ダーク TOKYO
- 主催 : 特定非営利活動法人 ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン
- 後援 : J-WAVE、TBSラジオ&コミュニケーションズ
- コラボレーションパートナー : ロート製薬
- 特別協力 : アミューズ
- プロジェクト協力 : オリックス Financial Industry in Tokyo for Charity Run、TOA、サニーサイドアップ
- 制作協力 : good design company、paperback、SEKI DESIGN STUDIO、SURETY、TAKACHIHO PRODUCTS、WELLNET、XEBEC、北鎌倉はるけん工房
- 監修 : DIALOGUE SOCIAL ENTERPRISE® Dr.Andreas Heinecke
- 開催日 : 2010年7月3日(金)～ 2010年9月28日(火)※水曜日はメンテナンスのために休館
- ユニット : 定員各8名(約90分)
- ユニット数 : 約20ユニット/日
- 会場 : 東京都渋谷区神宮前2-8-2 レーサムビルB1



東京メトロ銀座線・外苑前駅下車 徒歩8分

- 入場料 : すべて事前予約制 大人5,000円(税込)ドリンク代別
学生(中・高・大学生)70%、(小学生)半額
※但し、8月6日～22日まではより多くの子どもたちにも体験して欲しいので
夏ライトバージョン(時間が通常より短く設定)を開催します。その期間に限り大人3500円

- チケット販売 : 詳細情報 WEBサイト → www.dialoginthedark.com
※予約後、全国のローソン・ファミリーマートにてお支払い、もしくはクレジット決済

- お問い合わせ : ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン

<http://www.dialoginthedark.com/>
info@dialoginthedark.com

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-8-2 レーサムビルB1
03-3479-9683・2 11:00～18:00(土、日、祝祭日除く)

※下記のメーリングリストにご登録いただきますと、いち早く開催情報をお知らせします。
<http://groups.yahoo.co.jp/group/dialog-release/>



見えないから、見えるものがある。

人に、やさしくなれる場所。

ずっと、まっくらな中にいたくなる。

「まっくらな空間の体験」

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は日常生活の様々な環境を織り込んだまっくらな空間を、視覚以外の感覚を使って体験する、ワークショップ形式の展覧会です。参加者はまったく光の入らない完全な暗闇の空間を普段のように行動することは不可能です。そこで視覚障がい者のスタッフが、参加者をアテンド(サポート)いたします。

「視覚以外のコミュニケーションが、五感のバランスを取り戻す」

アテンドの声に導かれながら、視覚以外の感覚に集中していくと次第にそれらの感覚が豊かに開かれてそれまで気が付かなかった世界と出会いはじめます。森を感じ、小川のせせらぎに耳を傾け、バーでドリンクを飲みながら、一緒に暗闇を体験したグループでお互いの感じたことを交換します。現代の都会の生活で失われがちな五感のバランスを取り戻す一時です。

「心のバリアフリーに気づく場所」

このプロジェクトは障がい者の疑似体験ではありません。健常者と障がい者の「サポートする／される」という関係が、一瞬にして逆転します。そこで、健常者は視覚障がい者の持つ文化の一端に触れることができます。また、複数の人で体験することで、普段の視覚を使った生活では気づきにくい新しい関係が生まれるきっかけともなります。このような点からみて、「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は立場の違い、障害のあるなしを越えていまの状況を受け入れていくプロセスを共有体験する中で、異文化が交わることのできる新しいプラットフォームなのです。また本当の心のバリアフリーに気づく社会的なプロジェクトともいえます。

「視覚障害を持つ人の独自の感覚を活かした新しい雇用の創出」

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は、視覚障害のセンスを活かした雇用の場でもあります。一般公募により、アテンド・スタッフとバースタッフを募集。そしてオーディション、研修、合宿を行います。「ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン」では、常設展示を目指し、視覚に障害を持つ人独自の感覚を活かした新しい雇用の創出します。

「世界30カ国、120都市で開催され600万人以上が体験」

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は1989年に、ドイツのアンドレアス・ハイネツケ博士のアイデアで生まれ、その後、ヨーロッパを中心に30カ国、120都市で開催され600万人以上が体験しています。ドイツでは国の助成を受け長期開催も行われており、ベンツ、BMWなど優良企業がチームワークを作る企業研修として利用し大きな成果を上げています。

日本では、1999年からの11年間60,000名が体験。開催すること、プロジェクトに対する社会的要請が高まっています。

2008年タオル「グッドデザイン賞」・2005年「グッドデザイン賞・ユニバーサルデザイン賞」受賞

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は、これまでの活動が認められて2005年グッドデザイン賞・ユニバーサルデザイン賞を受賞。

<http://www.g-mark.org/library/2005/award-uni.html>

2008年にはアテンドの参加したタオルプロジェクトも受賞。

(社)日本イベント産業振興協会主催の日本イベント大賞特別賞・社会貢献賞、及びTBSラジオ&コミュニケーションズ社長賞を受賞。

■過去の活動記録や、海外の情報などはホームページをご覧ください。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン WEBサイト: <http://www.dialoginthedark.com>



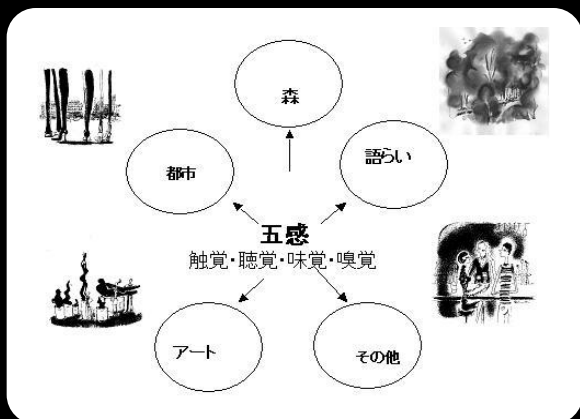
見えないから、見えるものがある。

人に、やさしくなれる場所。

ずっと、まっくらな中にいたくなる。

まっくらな中でのシーンイメージ

まっくらな空間のなかにさまざまな場面設定があります。
その中を視覚以外の感覚機能で動きます。



【基本フロー】

- まっくらな空間のなかに何人かが入る。
- ↓
- 動けないので案内役(視覚障がい者)についてもらう。
- ↓
- 視覚以外の五感をフル活用し、対話しながら、進む。
- ↓
- バーで、飲み物を飲みながら、その体験を語り合う。
- ↓
- まっくらから出た後、その感想を語り合う。

森を渡ってくる風

子供の頃、目を瞑って自転車を漕いだことがあります。
どこまで、まっすぐに走れるかのかが試してみたくて。

電気を消してお風呂に入るのも好きでした。浴槽の木の香りと立ち籠める湯気が体を包み込む、その感覚が子供ながらに豊かに感じられ、いつもなら早くお風呂から出て遊びたい私に正しいお風呂の入り方を暗闇が教えてくれたかのようでした。けれども、いつのまにか私は楽しかった遊びを忘れ、目や耳にすっかり頼る大人になってしまいました。

ある時、夜の森に遊びに行くことになりました。
明かり一つない暗闇のなか、蒸せ返るほどの木と落ち葉と土の匂いを体内に吸い込み、裸足で土の上に立ち、時には寝転び、真っ暗な森の中で「ああ、私は、地球の子だった」とからだがい出したのです。

私は、目を使って歩くのではなく子供のときのよう、足で森を歩くことができました。
土は、母親の肌のように、柔らかく温かでした。なんて豊かなことでしょう。私は土と抱き合い空気や風と抱き合っていたのです。子供の頃に知っていた風が戻ってきました。

風は、吹くのではなく、渡ってくるのです。
目や耳で感じたものではなく心で感じたものは深く温かでした。
私たちは、大人になっても年をとっても、まだまだ感じ、そして知ることができそうです。
限られたものしか見ること、聴くことができず、いつのまにか小さな自分の感覚に翻弄されていた私達。
きっと何も見えない暗闇のなかで本物を感じる力を取り戻すことができるでしょう。

この「Dialog In the Dark」の中で本物の自分とも出会えるかもしれません。
素敵な自分の感性に耳を澄ますときを、どうぞご自分にプレゼントしてみてください。
きっと、人という生き物は、すばらしいものだと感じることができるでしょう。

DID JAPAN理事/こども環境会議代表/パースセラピスト 志村季世恵

見えないから、見えるものがある。

人に、やさしくなれる場所。

ずっと、まっくらな中にいたくなる。

■お申込み方法

全てのユニットは、事前予約制になっております。ご参加ご希望の方は、お名前、媒体名、参加人数、ご希望の日時などをご記入の上 info@dialoginthedark.com までメールでご連絡ください。

ご希望の場合は、開催日時、ユニット開始時間をダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン WEBで予約申し込みボタンを押して確認した上でご希望の日時をお知らせください。

- ① 撮影及び収録などの御取材は、必ず事前にお問い合わせ下さい。
- ② 本展覧会の主旨から、会場内(くらやみエリア)の撮影は一切お断りしておりますので、あらかじめご理解下さい。
- ③ 掲載にあたっては、展覧会タイトルと会期、会場の表記を行って下さい。(下記ご参照)
また、放映日、掲載日が決まりましたら、事前にご連絡いただけますようお願い申し上げます。
- ④ 掲載に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
(※掲載記事を送付していただける場合も下記宛てに御手配いただければ幸いです。)

【お問い合わせ】

「ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン」事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-8-2 レーサムビルB1
03-3479-9683 (土、日祝祭日除く10:30~17:00)
info@dialoginthedark.com

※下記のメーリングリストにご登録いただきますと、いち早く開催情報をお知らせします。
<http://groups.yahoo.co.jp/group/dialog-release/>

見えないから、見えるものがある。

人に、やさしくなれる場所。

ずっと、まっくらな中にいたくなる。